

喫煙は糖尿病治療者の血糖コントロールを悪化させる(第2報)

各務竹康1)、早川岳人1)、栗田直人2)、
齋藤郁恵2)、畑淳子2)、福島哲仁1)

1)福島県立医科大学衛生学・予防医学講座

2)全国健康保険協会福島支部

【目的】

- 糖尿病治療者において、喫煙が血糖コントロールに与える影響を明らかにする

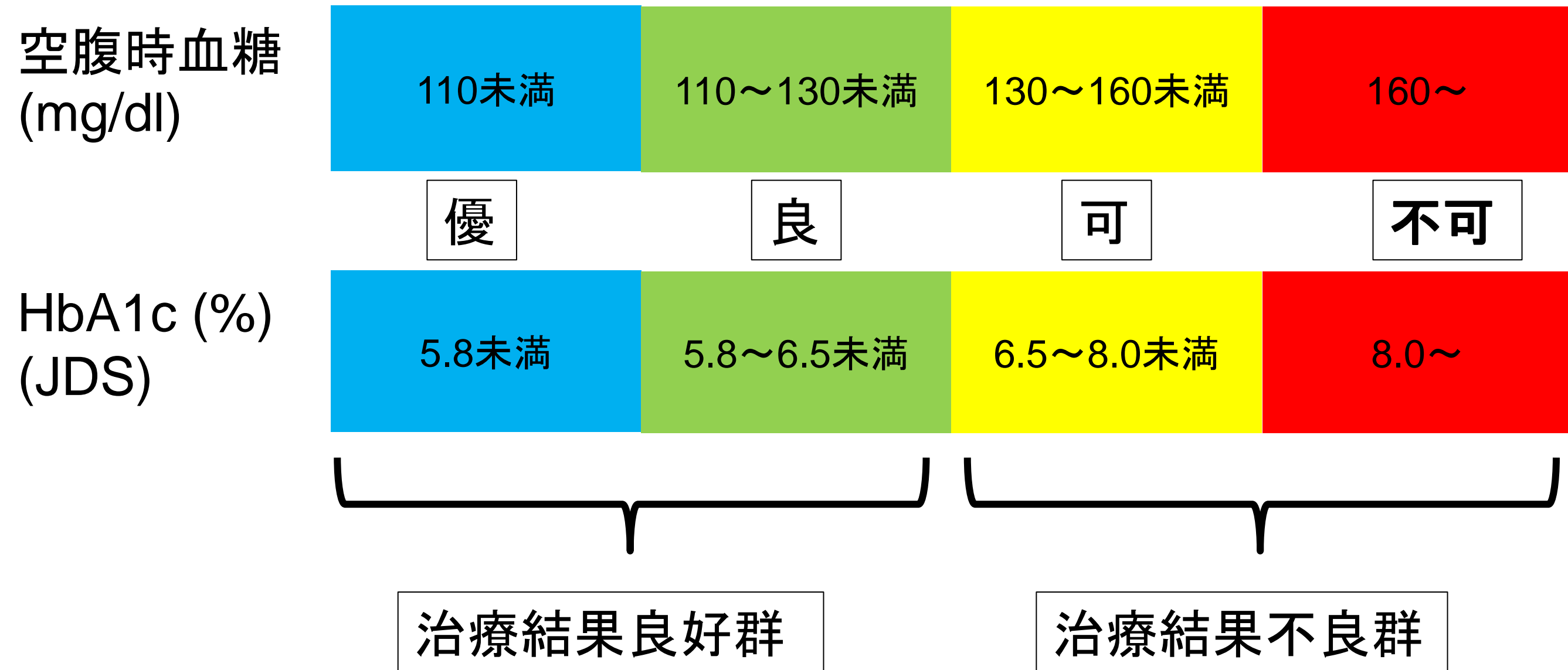
【方法1】

- 全国健康保険協会福島支部(協会けんぽ)加入者における、特定健診受診者の健診データを解析
- 平成21年度から平成23年度に行われた健診受診者
 1. 協会けんぽに1年間継続して加入していた35歳から74歳
 2. レセプトより、健診受診年度から翌年度9月の間に糖尿病の病名で受診している人
 3. 健診にて喫煙の有無に対する問診に回答しており、空腹時血糖若しくはHbA1cの測定を行なっている人

【方法2】

- 解析対象者(糖尿病治療者の人数)
 - 平成21年度: 男性12705人、女性4841人
 - 平成22年度: 男性13172人、女性4830人
 - 平成23年度: 男性14189人、女性5358人
- 対象者の年代
 - 35～44歳 45歳～54歳
 - 55歳～64歳 65歳～74歳
- 男女各年代別に、喫煙の有無と、カイ2乗検定を実施
- 有意水準を両側5%未満

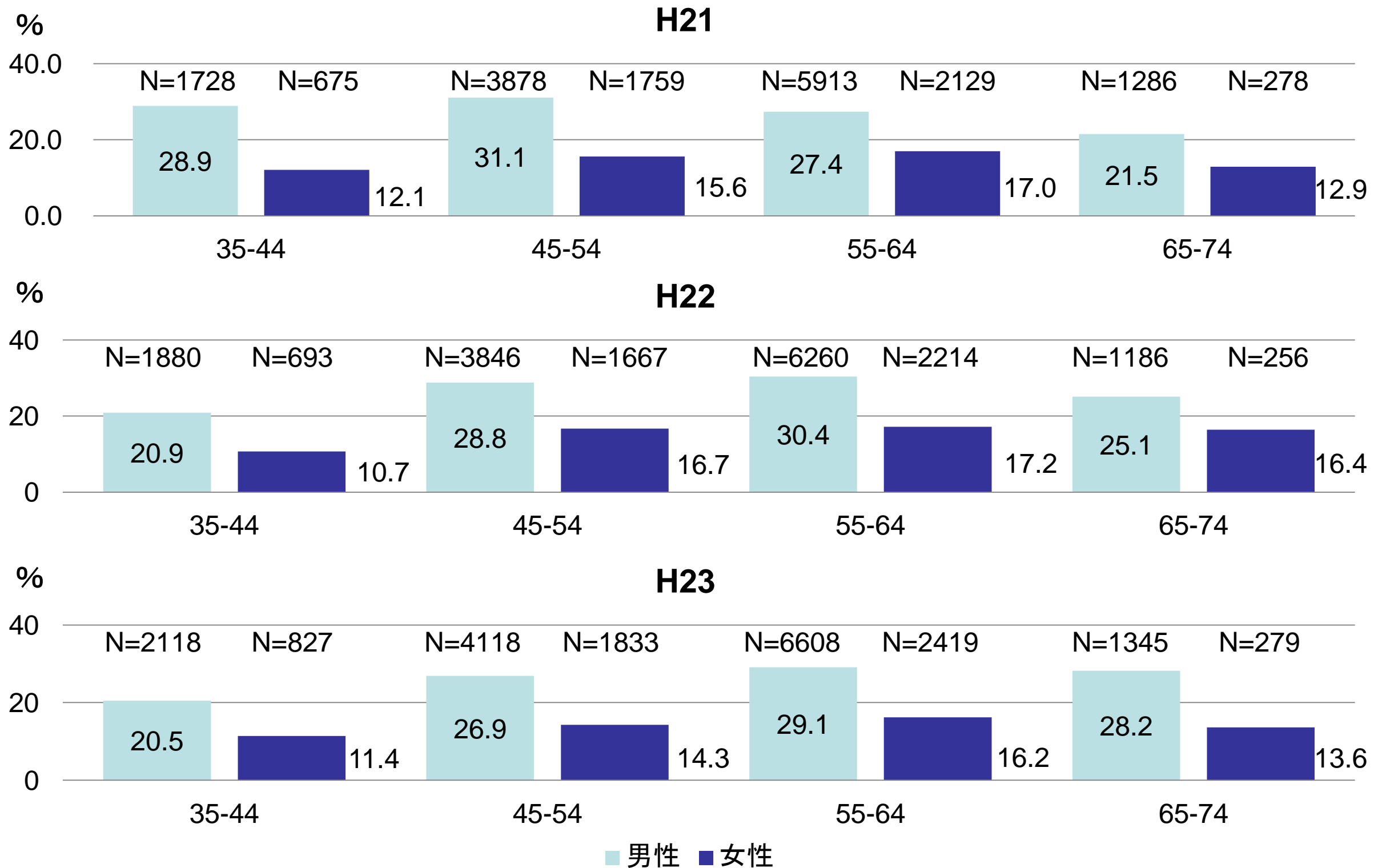
【方法3】血糖コントロールの分類



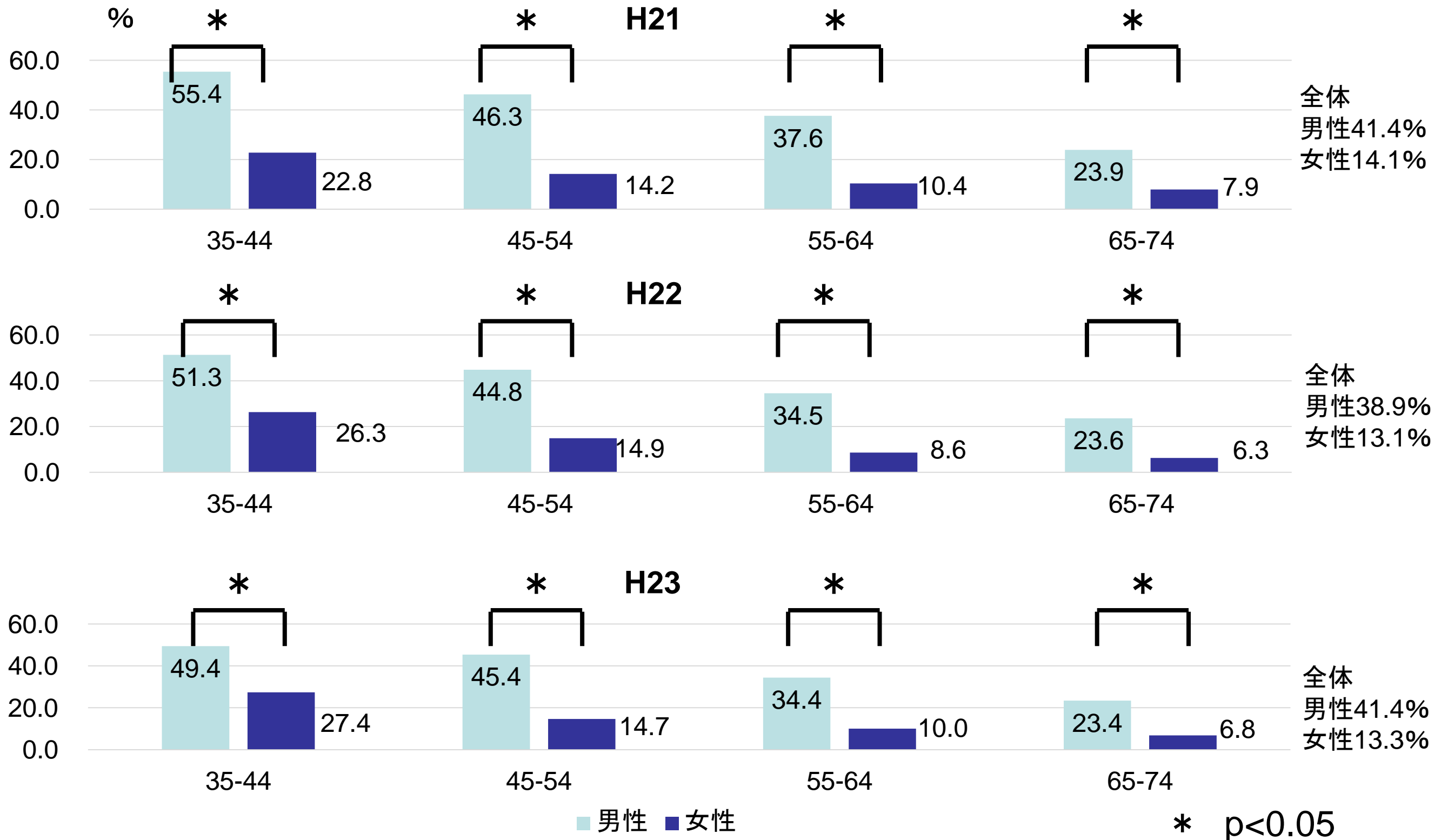
空腹時血糖、HbA1cの一方でも「可」、「不可」であった者を治療結果不良群とした

糖尿病診療ガイドライン(2004)より

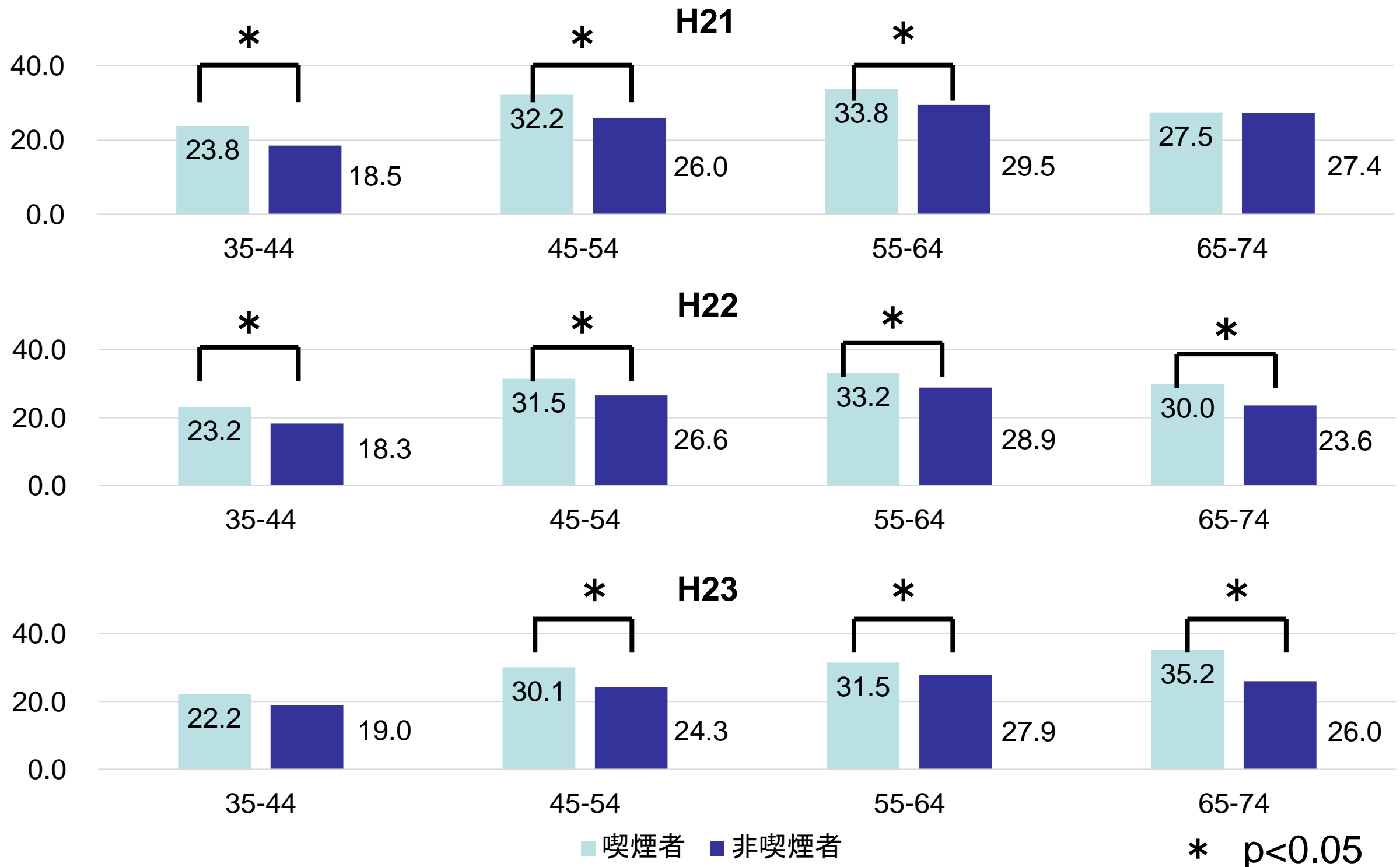
【結果】治療結果不良群の割合



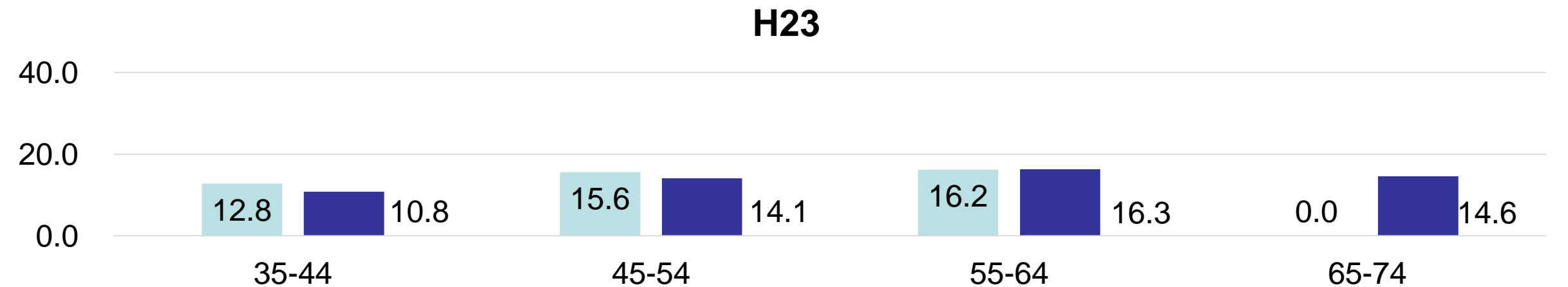
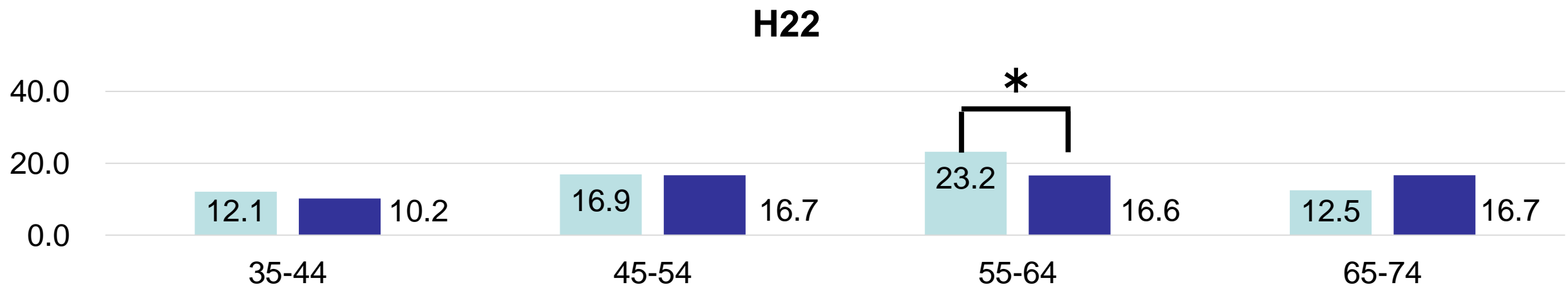
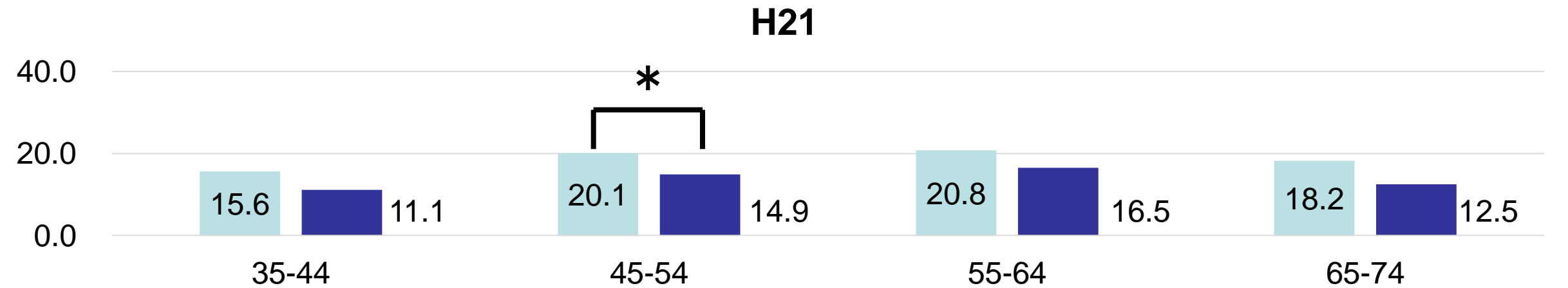
【結果】糖尿病治療者の喫煙率



【結果】喫煙状況別治療結果不良群の割合(男性)



【結果】喫煙状況別治療結果不良群の割合(女性)



■ 喫煙者 ■ 非喫煙者

* p<0.05

【考察】

- 糖尿病治療者の喫煙率は、加入者全体の喫煙率(H23男性48.8%、女性17.6%)よりも低い値であった
- 女性で治療結果不良群が少ないことは、女性で喫煙率が低いことに起因する可能性がある
- 喫煙の有無と、糖尿病治療結果不良群との間に、関連が認められた